

報告事項

第81期 事業報告、連結計算書類
ならびに計算書類報告の件

平成25年6月25日
NECネッツエスアイ株式会社

第81期(平成24年度)事業報告

国内経済の環境

- ・世界経済の減速懸念の不透明感から本格的な回復に至らず
- ・政権交代を契機とした円高是正・株式市況の回復により企業収益改善の兆し

⇒ 当社の事業領域であるICT市場においても動きが活発化。

第81期 業績サマリー（連結損益計算書）

大幅な增收増益

●全利益項目で最高益を達成

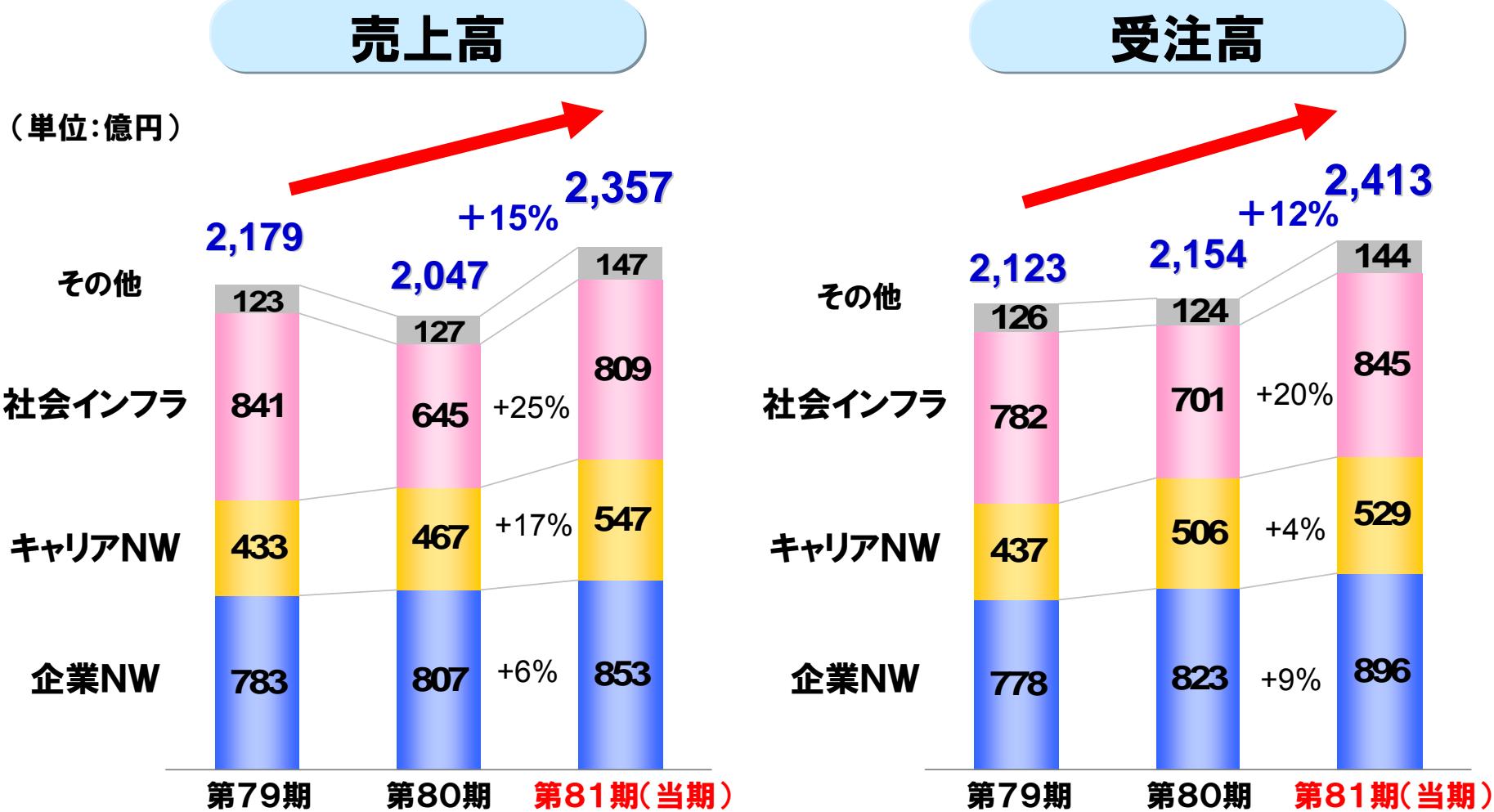
(単位:億円)

	第80期 実績	第81期 実績	前期差 / 比
受注高	2,154	2,413	+ 12%
売上高	2,047	2,357	+ 15%
営業利益 (営業利益率)	97 (4.8%)	125 (5.3%)	+ 27 + 0.5pt
当期純利益 (当期純利益率)	* 46 (2.2%)	75 (3.2%)	+ 29 + 1.0pt
R O E	5.9%	9.0%	+ 3.1pt
フリー・キャッシュ・フロー	161	△47	△208

※税制改革に伴う繰延税金資産の取崩しの影響 11億円 を含む

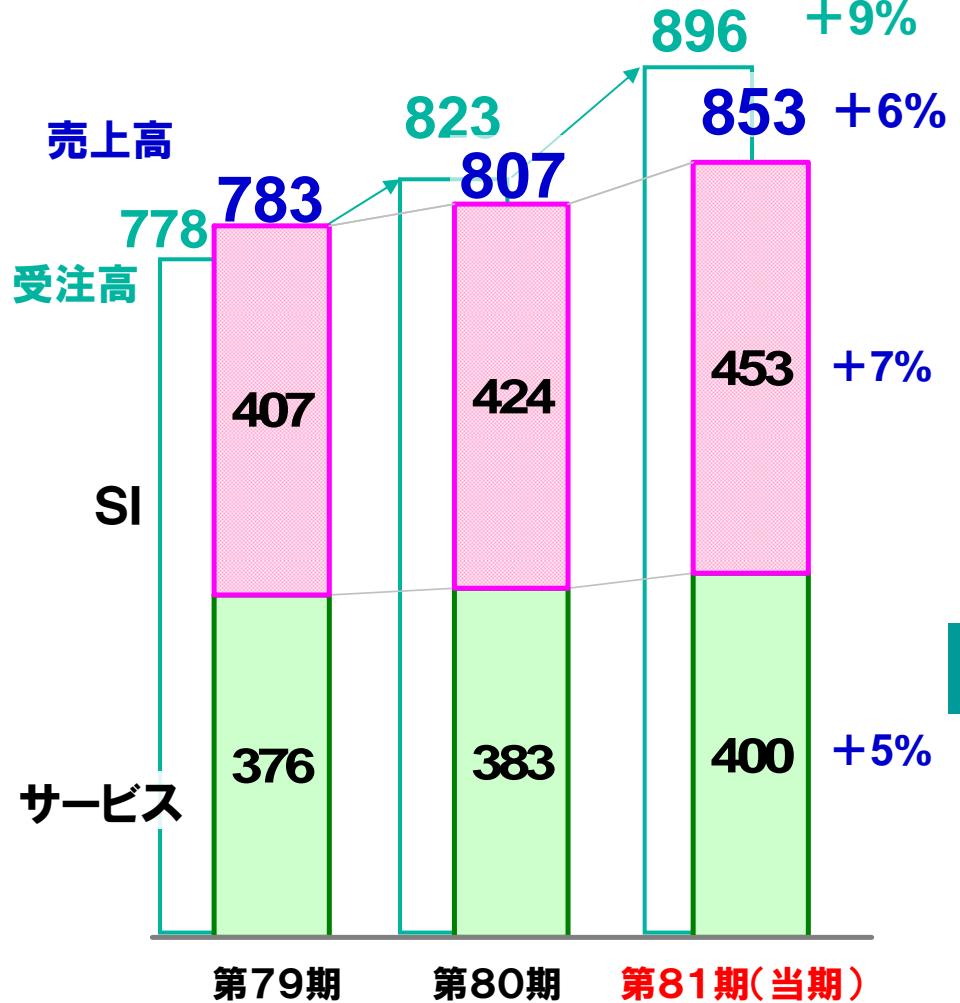
セグメント別売上高／受注高

| 売上・受注とともにすべてのセグメントが伸張



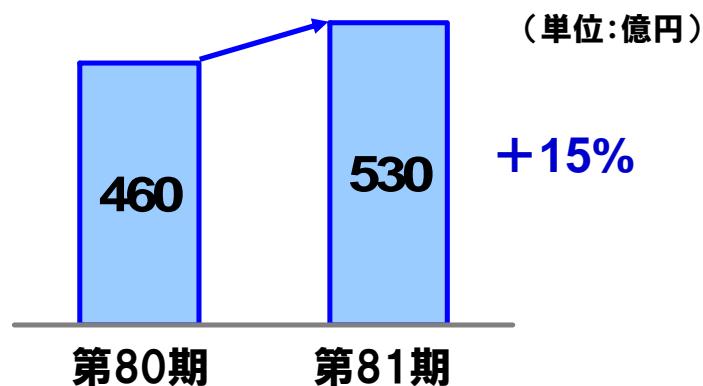
企業ネットワーク事業

(単位:億円)



■ EmpoweredOfficeが牽引
⇒ 拡販への取り組み強化と認知度向上

【EmpoweredOffice事業売上高】



■ パートナー企業協業に成果
⇒ コンタクトセンタービジネスの
領域拡大(構築+BPO)

EmpoweredOffice化拡大

地方自治体・病院・公共施設、グローバルへの展開

国内外拠点でのEO実践、ライブオフィス化推進

旧品川本社、飯田橋本社でのEO実践例



スリムオフィス化



ペーパレス化



会議改革・スピード経営



共有スペース改革
(知識・意識向上)



飯田橋本社

改革の水平展開
新規市場・ビジネス創出

日経ニューオフィス推進賞(情報賞)受賞
本社オフィス見学者1万人突破

国内拠点:
平成24年度下期から
順次EO化実施中

東日本、中日本、
西日本各支社等
5拠点実施
他拠点も順次EO化

海外拠点:
平成25年度より
アジアから開始

NESIC広州
(上海・広州)

NESICタイ

シンガポール
事務所

新規市場のEO導入例

北里大学北里研究所病院 第二医局様のEO化



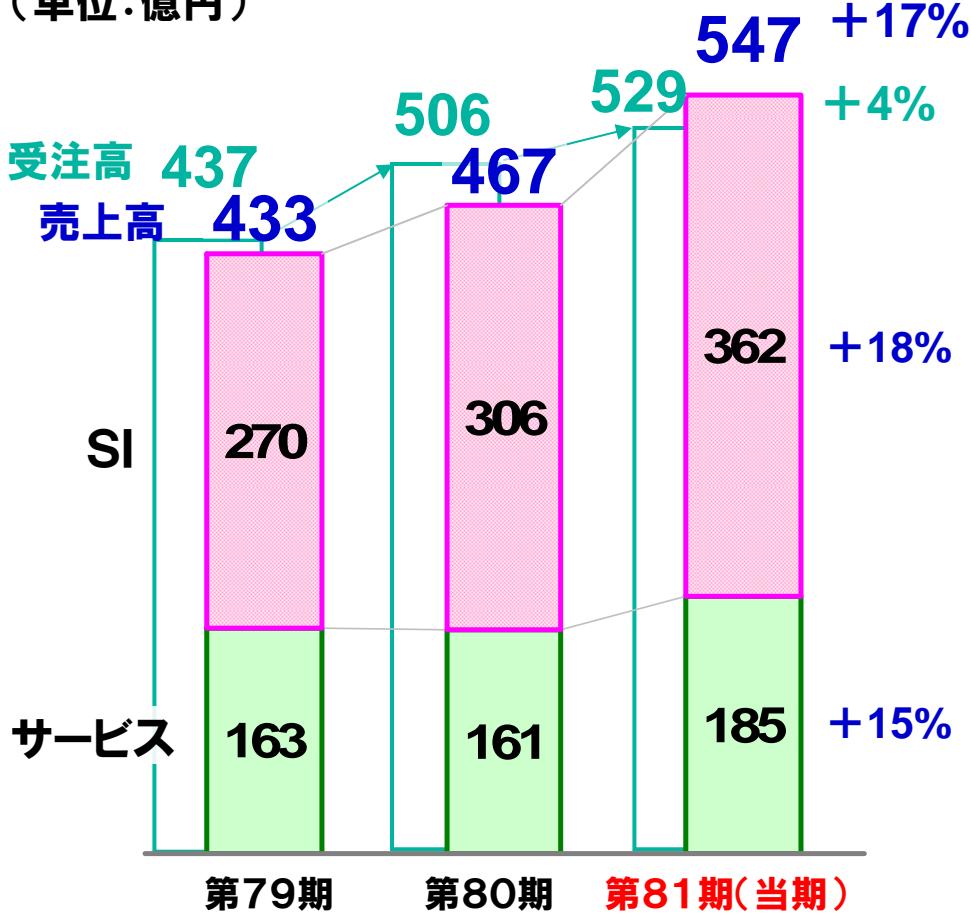
北里大学 北里研究所病院
Kitasato University Kitasato Institute Hospital



市役所様、大手企業地方支店
等でも導入例が拡大中

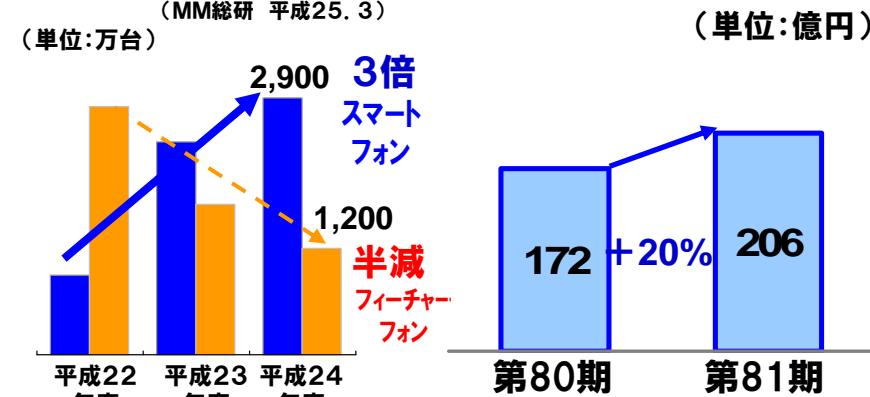
キャリアネットワーク事業

(単位:億円)



スマートフォン普及に伴う
トラフィック増への対応に
よりSI・サービス共に伸張

【スマートフォン出荷台数】 【トラフィック増対応関連売上高】

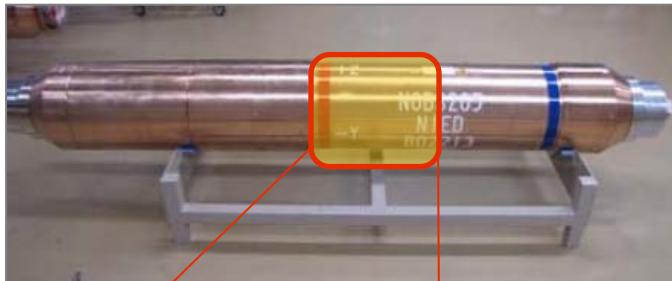


海洋地震計システムが
売上貢献
(売上:約50億円)

海底地震・津波観測システム

■ 海底ケーブル通信網を活用した地震・津波観測システム

- 日本海溝 地震津波観測装置



NESIC納入部位
(センサー&伝送部)

- 日本海溝 陸上送受信装置



- DONET2海底観測装置



日本海溝海底地震津波観測網

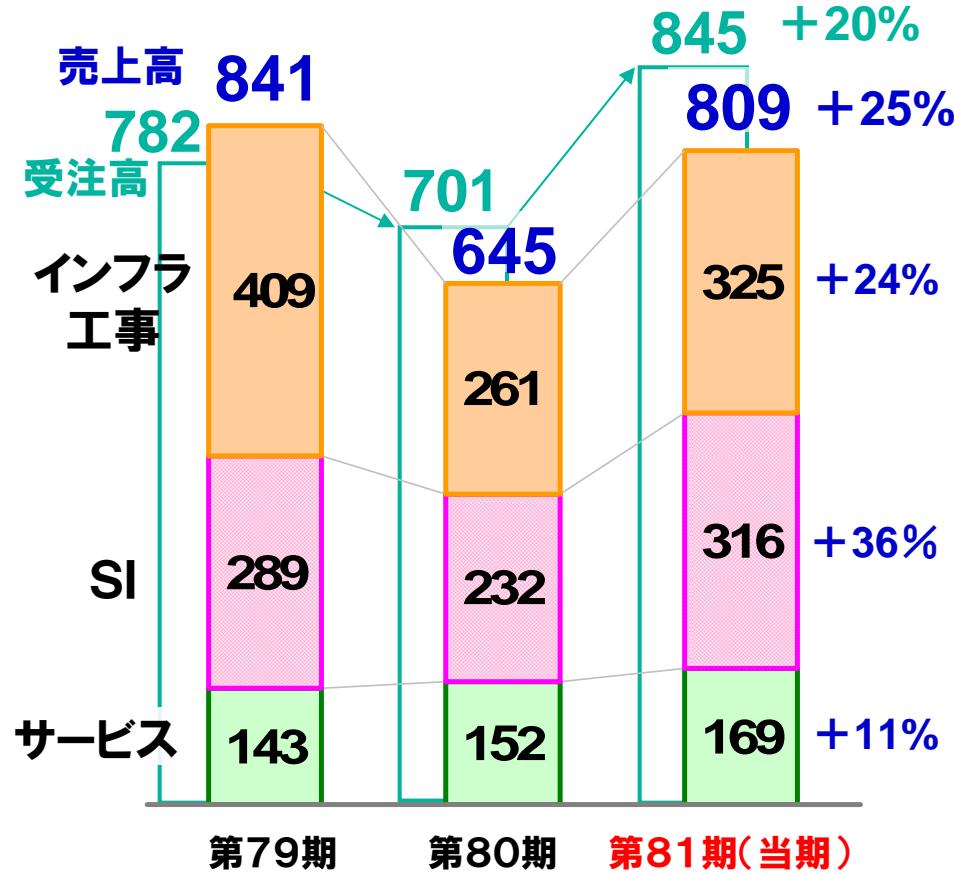
総延長 約5300km
観測地点 約150箇所

総延長 約500km
観測地点 約30箇所

DONET:Dense Oceanfloor Network system for Earthquakes and Tsunamis

社会インフラ事業

(単位:億円)



消防・防災システムのデジタル化への継続対応



消防無線

新周波数帯に応じた移動体基地局設置工事への対応強化

⇒ NECモバイリングの基地局事業買収(4月1日)



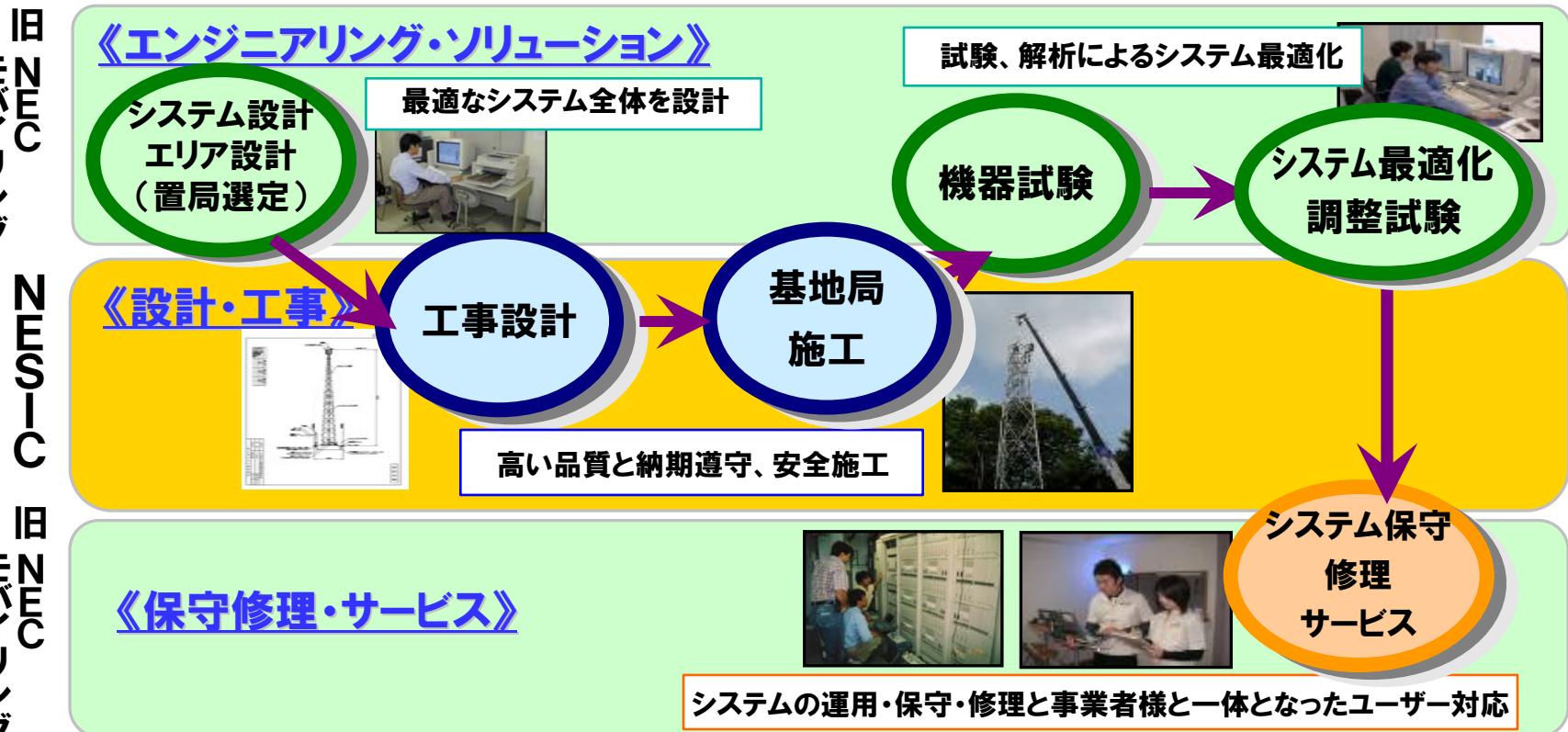
移動体基地局事業の統合

NECモバイリングの基地局事業を部門買収

一気通貫でお客様にサービスを提供し、売上拡大・収益力向上を目指す

	調査 設計	施工	試験	保守 サービス
統合後	○	○	○	○
統合前	-	○	-	△

旧
NEC
モバイリング



セグメント別営業損益

(単位:億円)

成長投資費用 ...

13

25

合計 108
(5.0%)

97
(4.8%)

125
(5.3%)

社会インフラ

48
(5.7%)

36
(5.5%)

62
(7.6%)

キャリアNW

44
(10.2%)

49
(10.6%)

63
(11.5%)

企業NW

77
(9.8%)

76
(9.4%)

74
(8.6%)

その他／
全社消去

△61

△64

△74

第79期

第80期

第81期(当期)

過去最高益を達成

～成長投資費用増を効率化で
吸収し、利益率も改善

●社会インフラ

- ・売上増に加え、昨年度からの構造改革による体質強化で大幅な増益

●キャリアネットワーク

- ・売上増および内製化努力により
大幅な増益

●企業ネットワーク

- ・売上増も、成長投資費用增加(6億円)
により、若干の減益

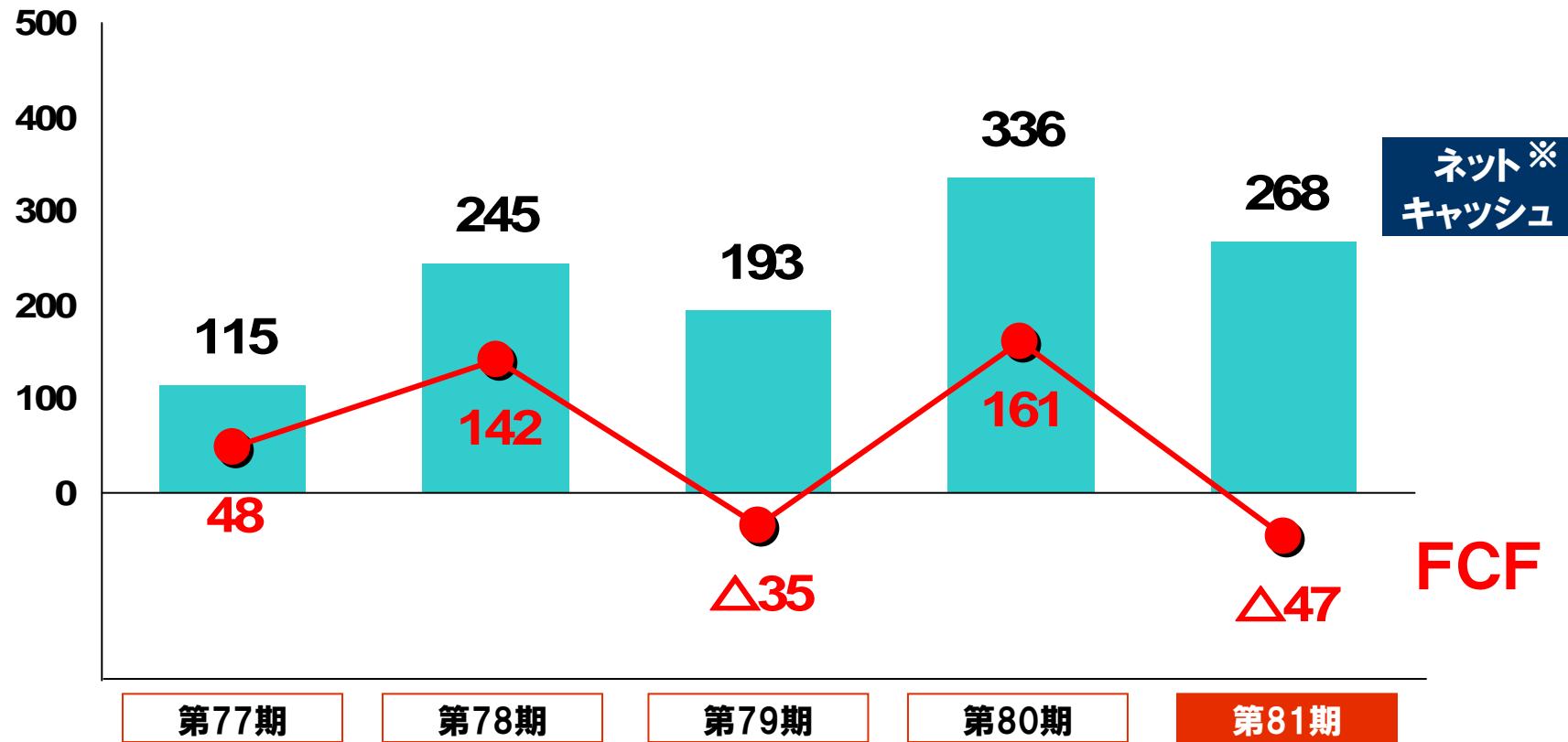
※営業力強化、データセンター関連

●その他／全社消去

- ・成長のための業務改革、M&A関連等の投資が増加

キャッシュフロー

(単位:億円)



※ネットキャッシュ＝現金および現金同等物－借入金

連結貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

(単位:億円)

	第81期	第80期	増 減
現金及び現金同等物	309	376	△67
受取手形及び売掛金	930	732	198
たな卸資産	104	80	23
その他流動資産	81	64	17
流動資産合計	1,425	1,252	173
固定資産合計	258	245	13
資産合計	1,683	1,497	186
買入債務	364	303	61
借入金	41	40	1
その他負債	410	347	63
負債合計	815	691	124
株主資本合計	865	807	58
その他の包括利益累計額	△5	△6	2
少数株主持分	7	6	1
純資産合計	868	807	61
負債純資産合計	1,683	1,497	186
自己資本比率	51.2%	53.5%	△2.3pt

第81期配当金

利益目標過達を反映し、配当を増額

- 7円増配（期末配当：19円 ⇒ 26円／株）
- 年間配当額 45円（前期比 6割増）
- 配当性向 30%

	1株当たりの年間配当金	
	中間(実施済み)	期末
第81期	45円	19円
		26円

トピックス

創立60周年に向けた取組み

お客様や社外への訴求力を強化

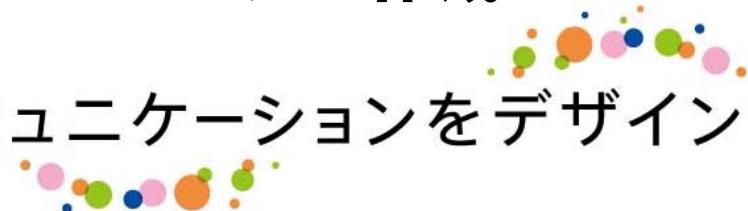
- 東証銘柄略称の変更

「NECネSI」⇒「NESIC」

- 60周年記念ロゴ、コーポレートメッセージの作成



明日のコミュニケーションをデザインする



- カスタマーズフェアの強化

・ブランド力の更なる向上を目指し、規模を拡大して開催

社内の活性化

(CS技術コンテストの模様)

- お客様対応フロア等の拡充

- CS技術コンテストの開催

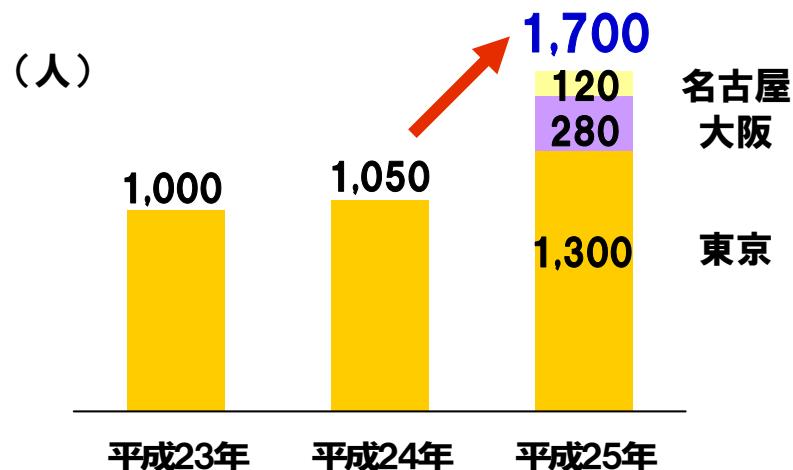


カスタマーズフェアの状況

東京(2/22)、大阪(5/23)、名古屋(5/29)、仙台(9月予定)
でも開催し、全国顧客プレゼンス向上を図る

来場者推移

取組みを強化・拡大し、来場者大幅増
経営者への訴求を強化し、システム導入
意思決定者層が半数へと拡大



カスタマーズフェアの様子



(東京)



(大阪)



(名古屋)

CSR活動①

ひまわりハウス設置

- ふるさとの未来・被災地復興についてコミュニケーション、考える場を提供



新入社員によるボランティア活動

- 南三陸町(宮城県)においてガレキ撤去



企業マルシェ「うまいもの市場」

- 本社ビルで岩手県・宮城県・福島県の物産市
- 地域振興支援として佐渡物産展開催



CSR活動②

昭和62年以来継続して南極越冬隊へ派遣した当社社員の経験を活かし、文京区および震災被災地の小学校で出張講座「南極くらぶ」を実施

26年間にわたり、南極の通信ネットワークを保守・運用に貢献



南極の氷や、防寒服など实物に触れての授業が大好評。
被災地では後輩に夢をと、地元一閑出身の元隊員が講師を担当。

**その他の事業報告および個別の計算書類の
内容につきましては、お手許の
「第81期 定時株主総会 招集ご通知」に
記載のとおりでござりますので、
説明は省略させていただきます。**

第82期(平成26年3月期)事業計画

第82期(平成26年3月期)の事業環境

国内経済の環境

- ・円高是正や株式市況回復、政府の経済金融政策を背景に、景況感の改善は継続する見通し。

当社の事業環境

- ・企業の業績回復による投資意欲の高まりや政府による公共投資の積極化など、官民両分野で徐々に投資回復が進むものと見込まれる。

第82期 事業計画

增收増益を着実に継続する

(単位:億円)

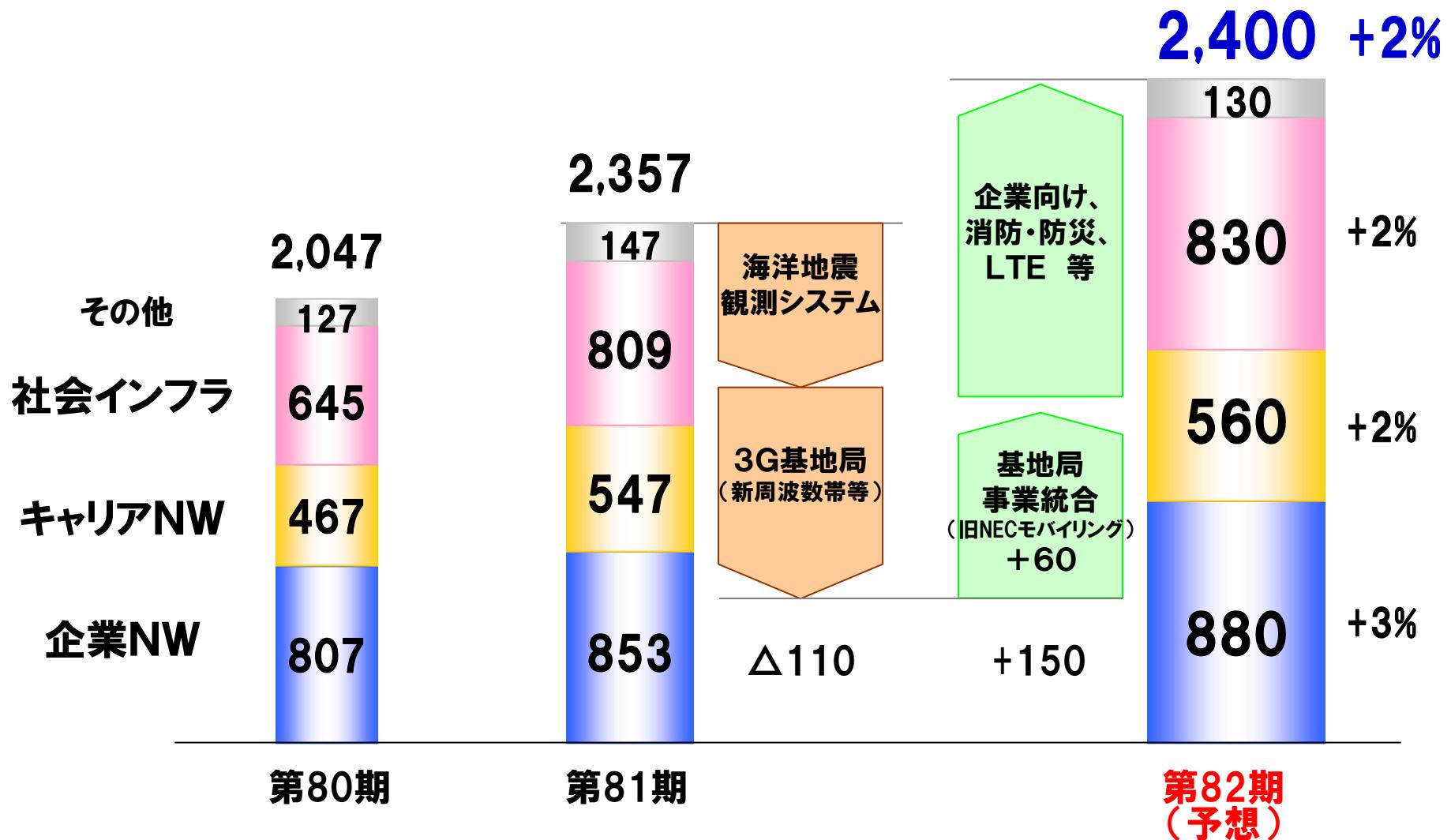
	第81期 実績	第82期 予想値	前期差/比
売 上 高	2,357	2,400	+2%
営 業 利 益 (営業利益率)	125 (5.3%)	130 (5.4%)	+5 +0.1pt
当 期 純 利 益 (当期純利益率)	75 (3.2%)	78 (3.3%)	+3 +0.1pt

(※予想値は、2013年4月26日現在)

第82期 業績予想(セグメント別売上高)

(単位:億円)

(※予想値は、平成25年4月26日現在)



第82期の取り組み

第81期の好調さを維持し、更なる成長を目指し
お客様視点を意識した顧客志向の事業を開拓

- 企業ネットワーク

- ・成長投資成果を活かしたサービス事業拡大
- ・パートナー企業とのシナジー拡大

(第一アドシステム社、Q & A社、もしもしホットライン社)

- キャリアネットワーク

- ・継続するトラフィック対策投資の積極的な取込み
～基地局事業統合シナジーの早期発揮

(NECモバイリングからの部門買収)

- 社会インフラ

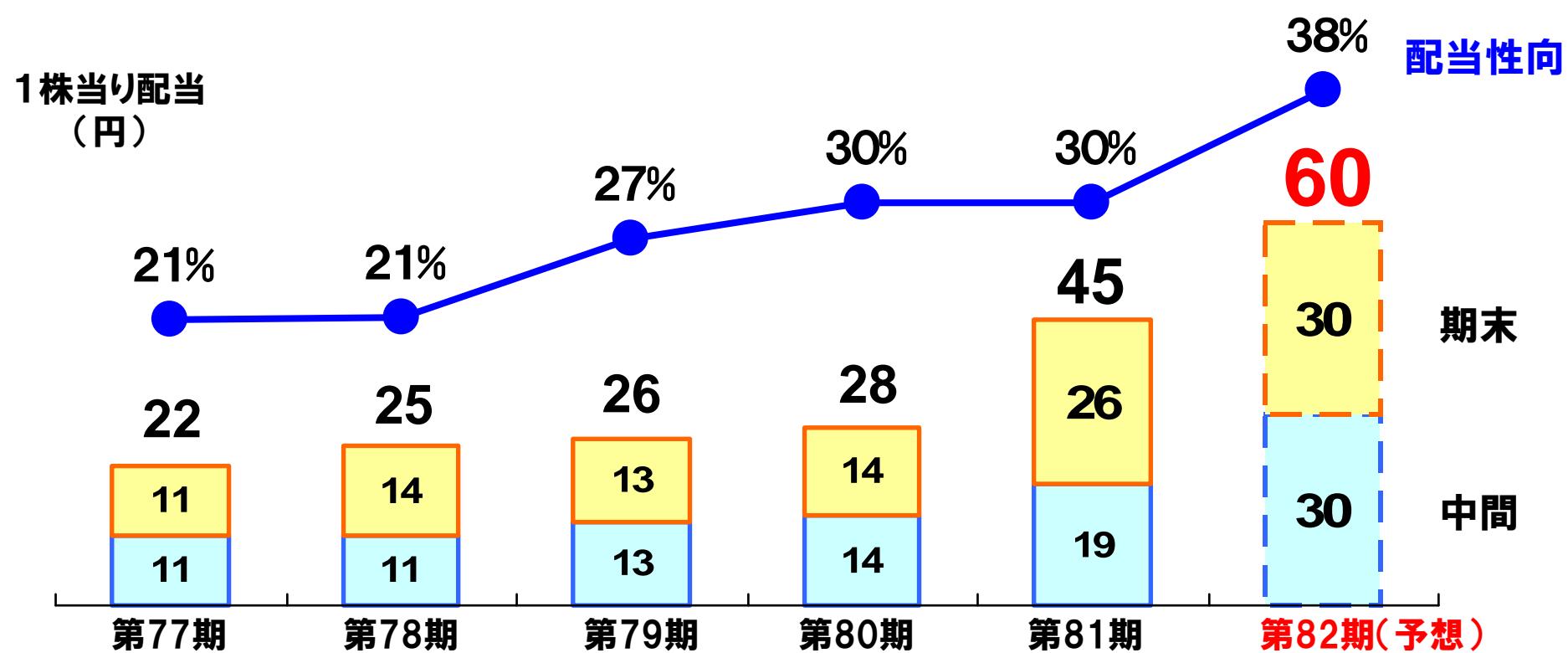
- ・消防システム事業、LTE基地局設置事業の着実な遂行

第82期配当予想について

(※予想値は、平成25年5月9日現在)

収益力強化を背景に株主還元を拡大

- 第82期：60円／株へ増配予定



中期的な成長に向けて

当社を取り巻く環境

金融緩和および景気対策等により当面の事業環境は持ち直し基調。14年度以降は消費税増税の影響に注視。

●企業ネットワーク

- ・従来型のICTインフラ構築やハード保守は減少傾向の一方でインターネット等を活用した付加価値サービス領域が拡大傾向

●キャリアネットワーク

- ・基地局へのインフラ投資は堅調に推移。
中期的には基地局への投資からモバイルサービス領域へ変化。

●社会インフラ

- ・政府による補正予算により平成25年、26年は堅調に推移。
以降は不透明感はあるものの新・国家IT戦略の動向に期待

既存注力事業、新事業分野を伸ばすことが必要

サービス事業に構造を変えつつ、
売上高成長、収益性の改善を図る

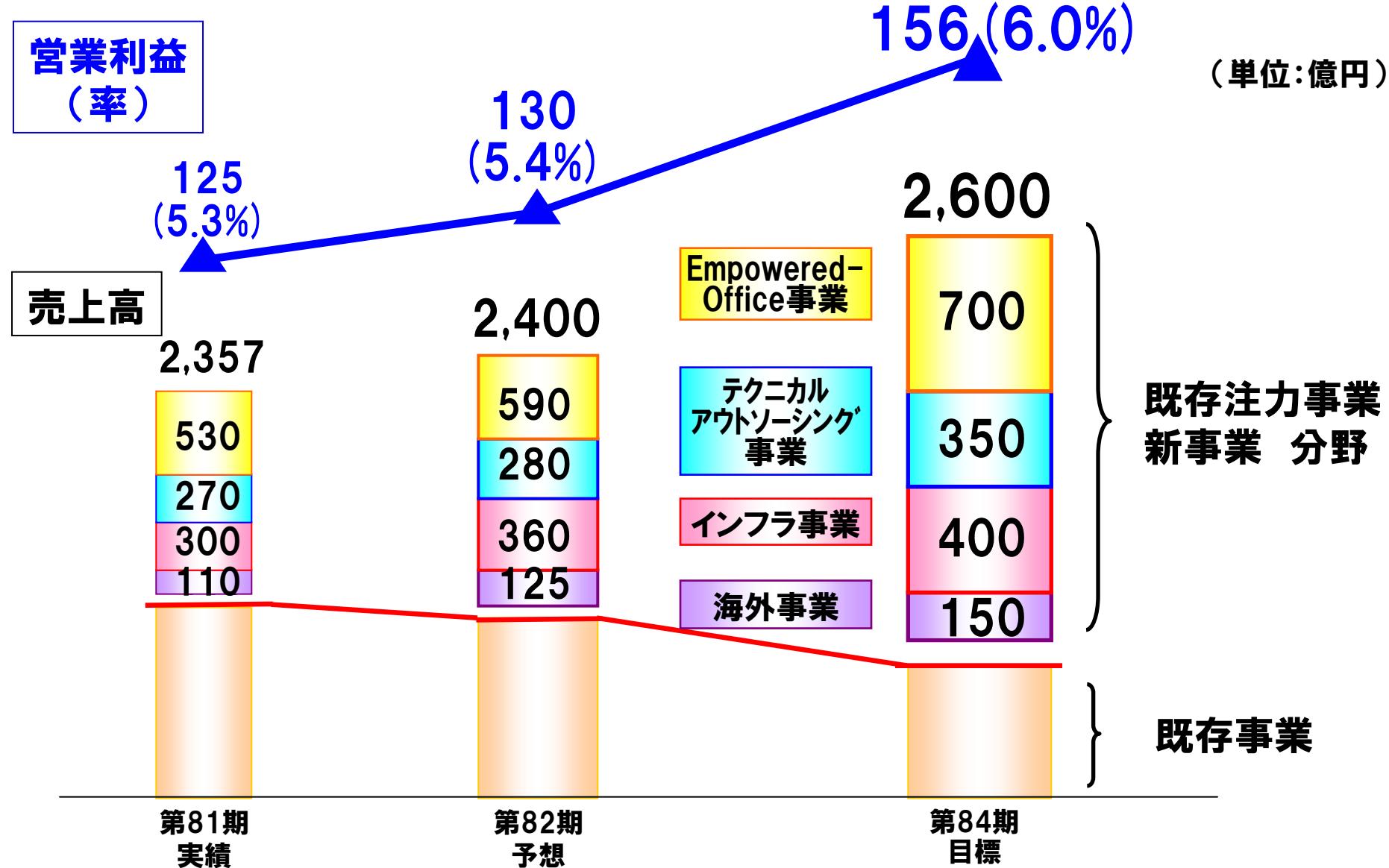
- 売 上 高 2,600億円以上
- 営業利益率 6%以上
- ROE 10%以上



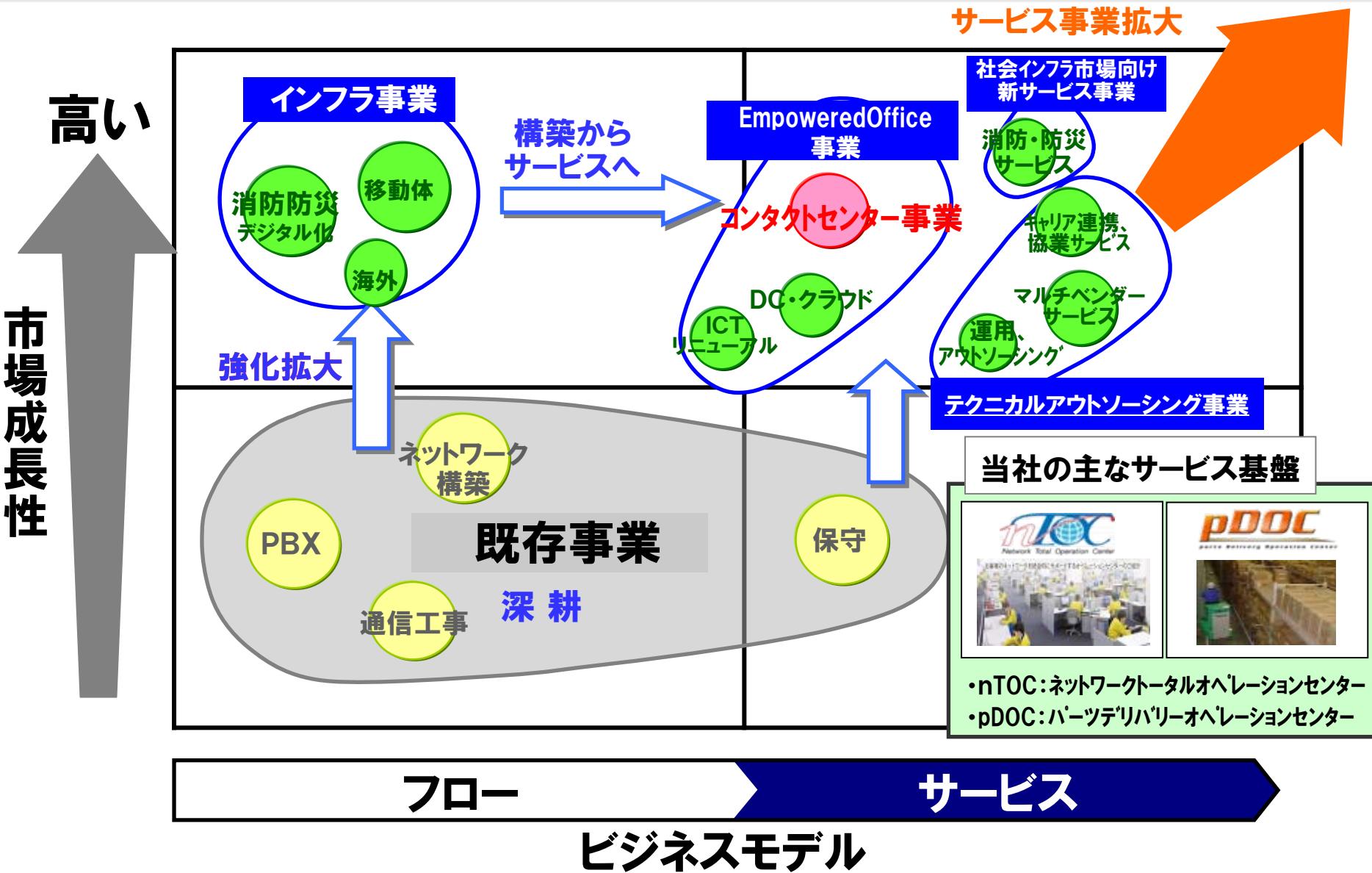
上場企業として株主様価値を向上

中期経営目標

(※目標値は、平成25年5月9日現在)



重点事業領域(戦略MAP)



コンタクトセンター事業の強化

キューアンドエー(QAC)社を子会社化し、同社を核にサービス事業を拡大

- QACとの資本提携を強化（出資比率を22%から56%へ）
- 当社子会社である第一アドシステム社をQACの連結会社化

NECネットワースアイ

連結
対象会社

キューアンドエー

連結
対象会社

第一アドシステム

キューアンドエー株式会社

事業概要:

製品の故障や利用方法などの様々な疑問に対し、直接訪問や電話・メールにて技術サポートを行って解決する「訪問サポート・サービス」や「コンタクトセンター・サービス」などを提供

- 代表者 : 代表取締役社長 金川 裕一
- 所在地 : (本部) 東京都渋谷区
- 従業員数 : 1,199名
- 資本金 : 8億9,740万円

資本提携強化のポイント

相互のシナジーを発揮し、中長期的な成長の実現へ

- **コンタクトセンター・サービス基盤の強化・効率化**
⇒ 3社のコンタクトセンター・システムを統合・強化し、より高いサービスをお客様へ提供
- **各社の事業基盤を生かした新サービスの提供**
⇒ 当社の強みとキューアンドエー社の強み(個人向け訪問サービス)を組み合わせて当社のお客様のエンドユーチャーに対して駆けつけサービスを提供
- **高付加価値なコンタクトセンター・サービス事業の拡大**
⇒ コンタクトセンターから得られる情報をもとに、お客様事業のコンサルテーション・販売促進等を行う高付加価値サービスを提供

最後に

平成25年 創立60周年

**業界トップを目指して、
まずは中期目標を必達**

事業の成長

組織の成長

人の成長

株主様価値の向上

NEC

NECネットワースアイ株式会社

NEC Networks & System Integration Corporation

www.nesic.co.jp

